

みんなで、自分で 学ぶ

古い寮 交流スペースに

東海学園大 学生の意見聞き改修

「一人で集中して資格の勉強をしたい」「友達と一緒に課題を進めたい」。東海学園大は4月、そついった在校生の意見を取り入れ、名古屋キャンパス（名古屋市中天白区）内の学生寮を大規模リニューアルした。理想の場所づくりに有志の学生たちが議論を重ね、学習や友人との交流がしやすい施設へと生まれ変わった。



リノベーションされた東海学園大の旧学生寮。ピアスクッションが置かれ、くつろぎながら交流できる。名古屋市中天白区で

4学部計約2千人が学ぶ同キャンパスでは、学習スペースの不足が課題だった。老朽化した寮を改装するにあたり、設計段階から学生の意見を取り入れた。声を踏まえ、3階建ての旧学生寮の2、3階部分を改装。2階は九つのラウンジに分け、椅子や机を配置。カフェ風、ピアスクッションを置いたりリビング風、低い机を置いた和室風など、くつろぎながら交流できるよう工夫を凝らした。3階には個人で学習できる空間やセミナールームなどを設けた。1階は今後、学食として利用するといった。

議論に参加した教育学部4年の垣内夢影さん(21)は「大学の中に、自分も友達も過ごしやすい場所ができた」と満足げ。4月から学長を務めている伊藤久司さんは「利用をきっかけに、大学への愛着を持ってもらえれば」と期待した。

(酒井博章)